

Shielding 積分テストWG
1991年度 第2回会合 議事録(案)

日時 : 1991年9月24日(金) 13:30~17:00

場所 : 日本原子力研究所 本部 第2会議室

出席者 : 川合(東芝)、菊池、長谷川、桜井(原研)、植木(船研)、松本(三井造船)、
佐々木(三菱原子力)、角田(三菱総研)、山野(住友原子力)、以上9名
<敬称略・順不同>

配布資料:

SB-91-17:Shielding Benchmark Test of JENDL-3 (Contents)	[山野委員]
SB-91-18:2.2.2 SSL90A/B:The Standard Group Constants for Safety Analysis of Radiation Shielding	[山野委員]
SB-91-19:3.4 KfK Iron Experiments	[山野委員]
SB-91-20:3.6 RPI Graphite Experiments	[松本委員]
SB-91-21:2.3.8 Hansen's Experiments	[植木委員]
SB-91-22:4. Discussions 4.1 Fission Source 4.1.2 Sodium	[大谷委員]
SB-91-23:ORNL TSF コンクリート透過実験解析による二次ガンマ線スペクトル	[角田委員]

議事 : 1. 前回会合(1991年8月2日)議事録(案)の確認がなされた。

2. JENDL-3 遮蔽積分テスト報告書原稿の説明が各委員より行われた。

- a. 山野委員より資料SB-91-17の説明が行われ、目次(案)に沿って、章節のタイトルが議論され、決定された。
- b. 山野委員より資料SB-91-18の説明が行われ、説明不足の部分を加筆することとした。
- c. 山野委員より資料SB-91-19の説明が行われ、underestimation等不適当な語句を修正することとした。
- d. 松本委員より資料SB-91-20の説明が行われた。0degreeの300keV付近の構造は再検討を行い、DIACでもcross checkすることとした。
- e. 植木委員より資料SB-91-21の説明が行われた。120degreeの合わない原因を文章中で説明するとのコメントに沿って修正することとした。
- f. 桜井委員より資料SB-91-22の説明が行われた。本報告書のDiscussionとしては不適当な部分があり、長谷川委員、川合委員より出されるコメントに沿った加筆修正を桜井委員より大谷委員に依頼することとした。
- g. 次回会合に、4章Discussionsの原稿を担当委員が作成し、提出することとした。
担当委員: Iron(山野委員)、Sodium(大谷委員)、Graphite(松本委員)、
Oxygen(長谷川委員)、SUS(佐々木委員)、D-T Neutron Source(植木委員)
- h. 次回会合に、0章~3章の原稿(typeout)を桜井委員が作成し、提出することとした。

3. ORNL-TSF二次ガンマ線ベンチマーク解析結果の報告として、角田委員より資料SB-91-23の説明が行われた。コンクリート透過厚さを増した結果でも、6~8MeVで不一致があり、計算法の違いで結果が異なるため、計算法としてS_n法を用いて再度検討することとした。結果は次回会合で報告すると述べられた。

4. 本年度活動計画について

山野委員より、本年度の新規活動計画（案）についての説明があり、全委員で議論を行った。DLC-87のTotal Cross Sectionの検討を行うことが決定され、波戸委員に検討をお願いすることとした。また、新委員として東大核研：上蓑氏の参加を山野委員から打診することとした。

次回会合予定：1991年11月15日（金）13:30~17:30

日本原子力研究所 本部 会議室

次回予定議題：1) JENDL-3遮蔽積分テスト報告書原稿の説明（各委員）

2) ORNL-TSFコンクリート透過問題の再検討結果（角田委員）

3) DLC-87定数検討について（波戸委員）

4) その他

以上